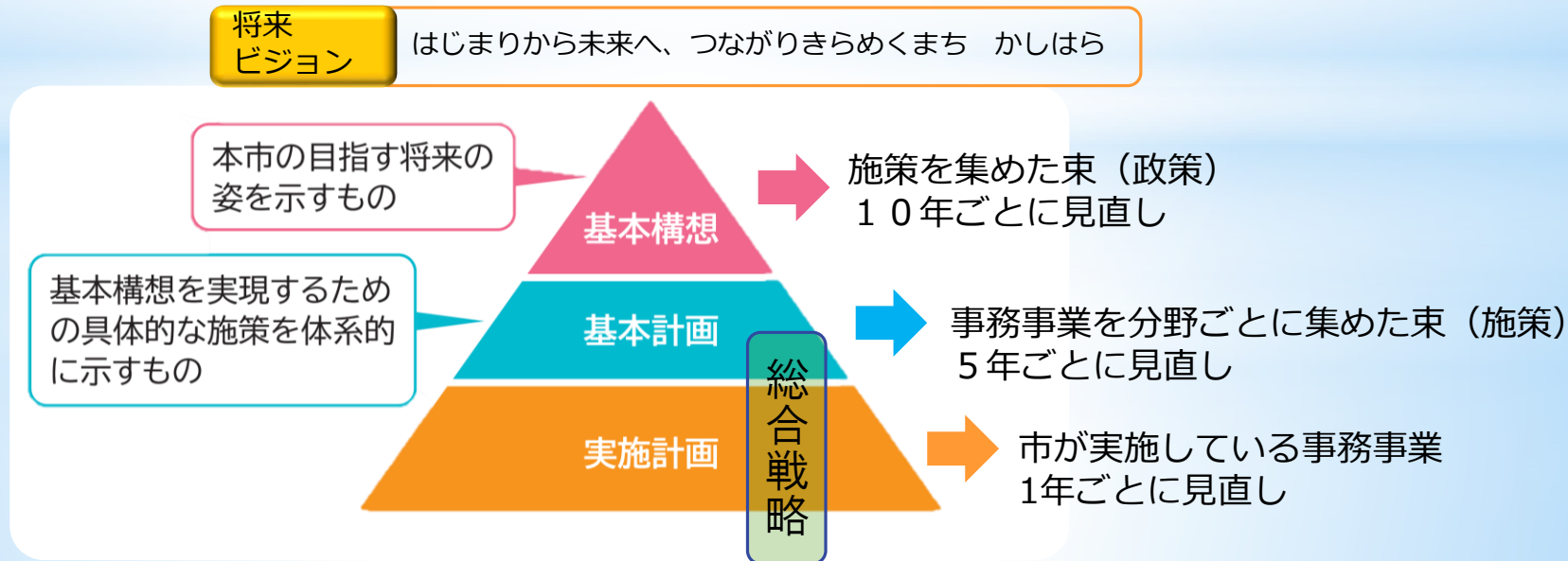


第4次檜原市総合計画後期基本計画の策定について

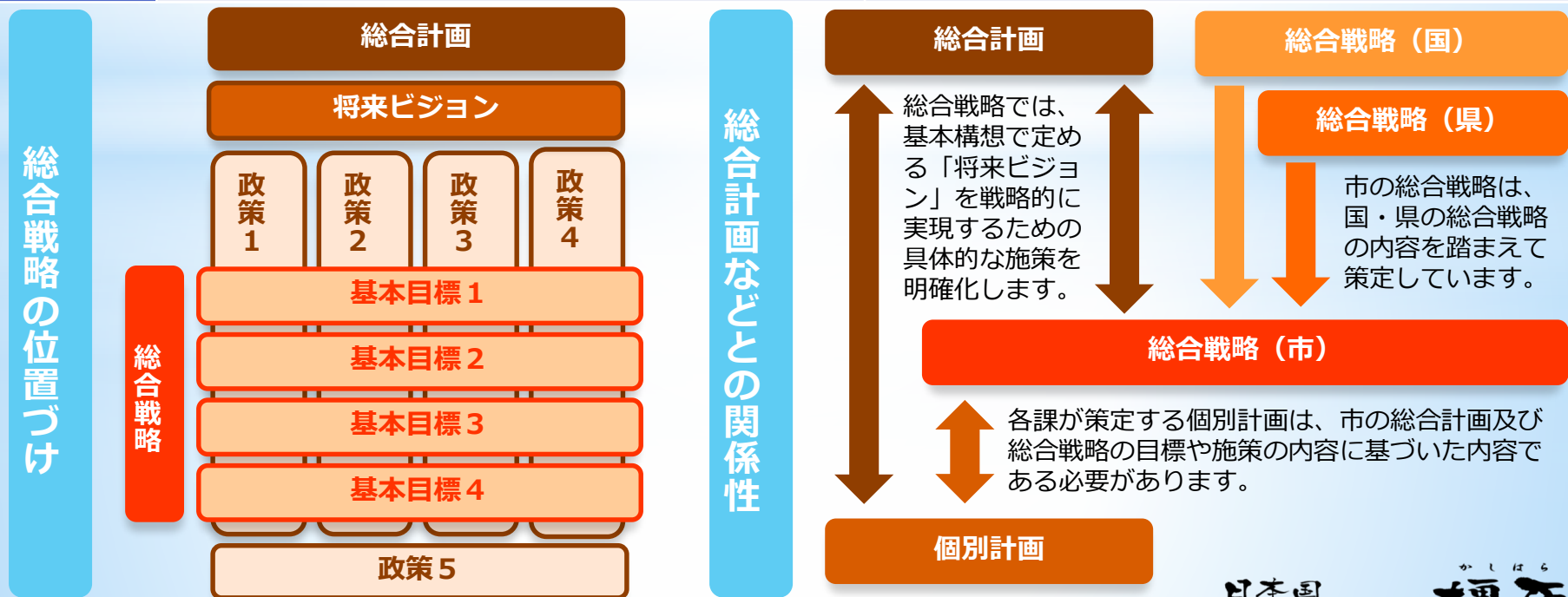
<総合計画・総合戦略の全体像>

- 総合計画は、基本構想・基本計画・実施計画の **3層構成**。
- 総合戦略は、総合計画を構成する**分野を横断**する施策の集まり。

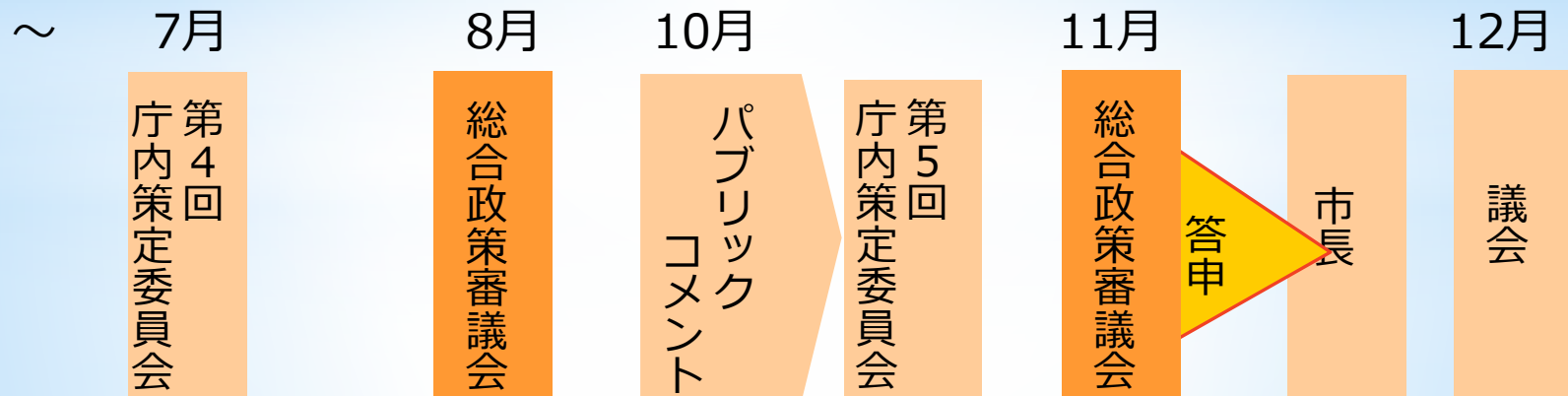
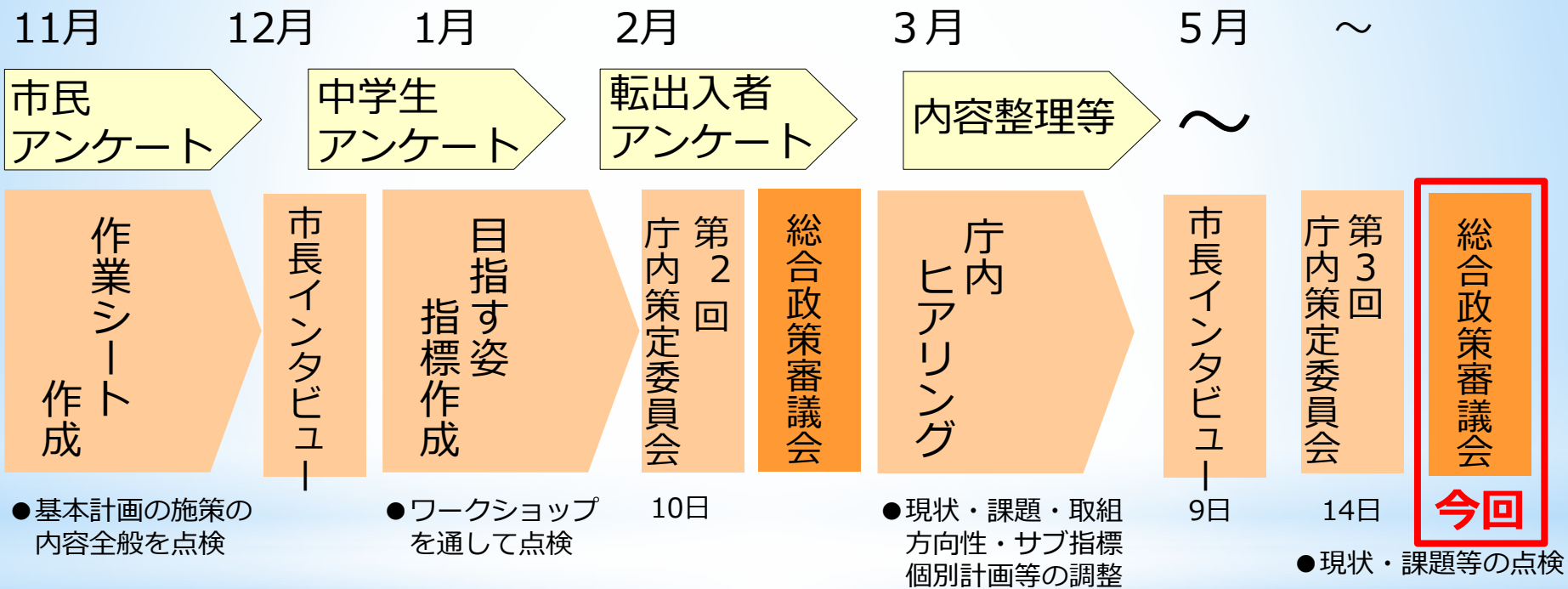


<総合計画・総合戦略の全体像>

	橿原市第4次総合計画	第2期橿原市まち・ひと・しごと創生総合戦略
概 要	本市のまちづくりの基本的な方向を示し、各分野の行政経営の最上位となる指針	地方創生の実現のために、多様な主体が連携して取り組む戦略的な重点施策を示したもの
目 的	将来ビジョンの策定（基本構想）及び基本構想の実現のための施策の具体化	地域の稼ぐ力や地域内の経済循環を高める「地方創生」の実現及び人口ビジョンの達成
対 象	・市が実施する全ての施策（網羅的）	・地方創生に関する重点的な取組（横断的）
計画期間	【前期】令和3年度～令和7年度 【後期】令和8年度～令和14年度(2年延長)	令和3年度～令和7年度



後期基本計画策定の進捗



23日(予定)
●パブコメ前の点検

上旬(予定)

10月22日 or 11月12日(予定)
上旬(予定)

●パブコメ後、議案確定前の点検

作業シート

を各担当課レベルでまず
お示しいただきました。

1月に実施したワーク

施策の目指す姿と成果指標について担当課同士で見直していただきました。

見直しのポイント

- 職員が目指す姿を読んで、共通して具体的にイメージできるものにするため
- その目指す姿に沿って、市民が評価できる指標を設定するため

見直しをお願いした箇所

橿原市第4次総合計画 後期基本計画

I みんなが活躍し、個性輝くまち

1. 保育・幼児教育

関連する
SDGs



成果を図る指標

① 目指す姿

- 幼児期のこどもたちが楽しそうに活動する姿を見られるように、必要なサービス等が整っています。

②

幼児期のこどもたちの笑顔が輝き、のびのびと育てられるように
必要なサービス等が整っていると感じる市民の割合

実績値：〇%

現状

- 適正な集団規模を確保することは、義務教育及びその後の教育の基礎を培う幼児教育にとって大変重要なことですが、本市の市立幼稚園では園児数の減少が進み、このうちいくつかの幼稚園では過小規模の状態が続いています。また、第40年を経過した施設が多くあり

課題

- 幼児教育に必要な一定規模の集団を形成できず、幼児期に培うべき協調性や規範意識などを会得しにくい状況があります。また、老朽化対策としての早急な施設改修等の整備はもちろんです。現代の生活様式に適應した幼児期にふさわしい保育・教育環境を整える必要

取組の方向性

幼児教育・保育施設の
再編による集団規模の
適正化・整備

方向性の説明

過小規模園の園区を市内全域に広げるなどの園児を増やすための対策を講じ、それでも状況が改善しない場合は、近隣施設との合同保育等の再編を進めます。また、計画に基づき順次施設の適正配置及び整備を進めます。

保育士の処遇改善や働きやすい職場環

取組の例

- 計画に基づく施設の再編・整備
- 園区廃止等による園児数の増加
- 保育士の柔軟な勤務体制の

前回の総合政策審議会で一旦固定とさせていただきます

今回点検いただきたい箇所

橿原市第4次総合計画 後期基本計画

1. 保育・幼児教育

目指す姿

- 幼児期の子どもたちが楽しそうに活動する姿を見られるように、必要なサービス等が整っています。

現状

- 適正な保育・幼児教育を確保することは、義務教育及びその後の学習の基礎を培う幼児教育にとって大変重要なことですが、本市の市立幼稚園では園児数の減少が進み、このうちいくつかの幼稚園では過小規模の状態が続いています。また、第40年を経過した施設が多くあり老朽化が進んでいます。
- 就労形態の多様化や共働き世帯の増加、第2子以降保育料の無償化などに伴い、保育所への入所希望者は年々増えています。
- 就労形態の多様化や共働き世帯の増加、第2子以降保育料の無償化などに伴い、保育所への入所希望者は年々増えています。
- 保育・幼稚園施設は老朽化が進んでいます。子どもが安全に生活できるよう、計画的な施設や設備の保守管理が求められます。

課題

- 幼児教育の質を向上させるためには、一定規模の集団を形成できず、幼児期の子どもが協調性や規範意識などを会得しにくい状況があります。また、老朽化対策としての平癒な施設改修等の整備はもちろんです。現代の生活様式に適応した幼児期にふさわしい保育・教育環境を整える必要もあります。
- 保育士不足等により保育所の受入れ体制が十分に整っておらず、多様な保育ニーズに対応できる体制の構築が求められます。
- 保育・幼児教育の重要性は増しており、子どもの豊かな成長のため、様々な生活体験を提供していく必要があります。また、子どもの生活や発達の連続性をふまえ、就学に向けて、小学校との交流、職員同士の交流、情報共有や相互理解等の連携が必要です。
- 計画的な施設や設備の保守管理が求められており、変化する生活様式に対応した幼児期にふさわしい生活環境を整える必要があります。

1 みんなが活躍し、個性輝くまち

関連するSDGs



成果を図る指標

幼児期の子どもたちの笑顔が輝き、のびのびと育てられるように必要なサービス等が整っていると感じる市民の割合

実績値: 〇%

取組みの方向性	方向性の説明	取組み例
5 保育・教育施設の整備・拡充	過小規模園の園区を市内全域に広げることで、保育環境を改善するための対策を講じ、近隣の民間保育園等の再編を進め、計画に基づき順次施設の適正配置及び整備を進めます。	7 計画に基づく施設の再編・整備 ● 園児数の減少による園児数の増減
保育施設・幼児教育の受け入れ体制の充実	保育士の処遇改善や働きやすい職場環境づくりで保育士の確保に努め、受け入れ体制の整備を図ります。	● 保育士の柔軟な勤務体制の確保 ● 私立保育園の支援の充実 ● 特色のある保育の実施
保育・教育の充実 子どもの発達や学びをつなぐための幼児小の接続推進	幼児小の教育のつながりを意識した活動を取り入れ、子どもの豊かな体験を生み出します。また、主体的、対話的で深い学びを提供します。	● 保育サービスの情報提供 ● 地域との交流 ● 相互理解の促進 ● 架け橋プログラムの作成実施
施設等の適切な維持管理	子どもが安全に過ごすための、施設等の適切な維持管理を実施します。特に、幼稚園・こども園のトイレを明るく楽しいトイレに改修します。	● 施設等の適切な維持管理 ● トイレの改修

関連する個別計画

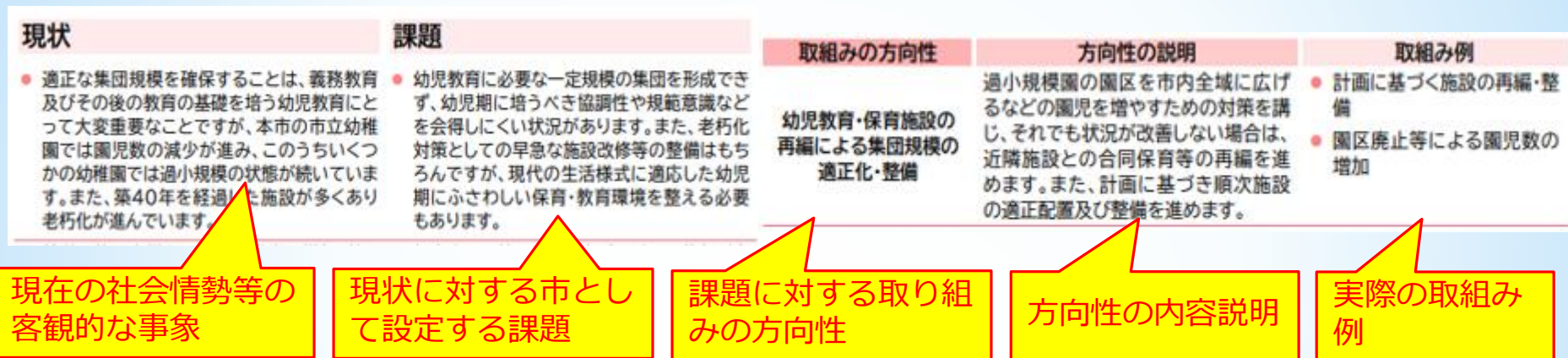
- ▶ 橿原市食育推進計画
- ▶ 子ども・子育て支援事業計画
- ▶ 橿原市就学前保育・教育指針
- ▶ 橿原市就学前入園保育・教育指針
- ▶ 就学前保育・教育のあり方と適正配置についての基本方針
- ▶ 橿原市学校施設整備基本計画
- ▶ 橿原市教育施設再配置基本方針
- ▶ 橿原市発達障がい者支援推進プログラム
- ▶ 橿原市教育大綱

- ③ 現状
- ④ 課題
- ⑤ 取組みの方向性
- ⑥ 方向性の説明
- ⑦ 取組例
- ⑧ 個別計画

+ サブ指標

今回点検いただきたい箇所

●現状～取組み例の一連の流れ



●課題を解決する取組みを測る指標となっているか

サブ指標一覧表				資料2-3	
		指標名		初期値	目標値
1.保育・幼児教育		幼稚園の園児数が15人未満の学年数（畝傍南を除く）		6	0
		実質待機児童数（人）		95	0
		架け橋プログラム作成実施		0	13
		トイレの改修		0	5

対応する指標
（冊子イメージに掲載している順番になっています）

※
施設整備等のハード事業や事務等については活動指標（インプット指標）を設定しています。

<総合政策審議会にお願いすること>

- 7年後の目指す姿の達成のためにしている取組内容が現状・課題から適切につながっているか。

- 課題を解決する取組みについて、適切に測る指標が設定されているか。